

◆ 第76回浅草寺福社会館教養講座 ◆

(3回連続講座)

# 食べものが 劣化する日本

● 講師： <sup>やす</sup>安 <sup>だ</sup>田 <sup>せつ</sup>節 <sup>こ</sup>子 氏 (食政策センター・ビジョン21代表)

◆ 第1回 11月15日(水) 13:30～15:00

日本の農薬汚染と子どもの健康

◆ 第2回 11月22日(水) 13:30～15:00

日本の種子が危ない！食料自給に黄信号

◆ 第3回 11月29日(水) 13:30～15:00

コオロギや遺伝子操作食品は食卓に必要？

◆ お申込み受付：10月11日(水)より



■ 会場：浅草寺普門会館3階

■ 受講料：500円(連続3回分)

◆ 定員：50名(事前申込制)

※連続講座のため3回出席できる方

■ お申込み・お問い合わせ

電話：03-3844-5225

浅草寺福社会館(浅草寺普門会館内)

〒111-0032 台東区浅草2-31-8

午前9時～午後4時50分(月曜・祝日休館)

● 講師紹介：安田節子氏

食政策センター・ビジョン21代表、NPO法人日本有機農業研究会理事、一般社団法人アクト・ビヨンド・トラス理事、日本の種子を守る会常任理事。元日本消費者連盟食糧農業問題担当(1990年～2000年)。2000年11月食政策センター・ビジョン21設立。著書に『食べものが劣化する日本』(食べもの通信社)、『自殺する種子～アグロバイオ企業が食を支配する』(平凡社新書)、『わが子からはじまる食べものと放射能のはなし』(クレヨンハウス・ブックレット)、『消費者のための食品表示の読み方～毎日何を食べているのか』、『遺伝子組み換え食品Q&A』(岩波ブックレット)ほか多数。